

## 低炭素電気普及促進計画書兼報告書

2020年 9月 18日

（提出先）  
横浜市長

住所 東京都千代田区大手町一丁目1番2号

氏名 ENEOS株式会社  
大田 勝幸

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例第146条の7第1項及び第2項の規定により、次のとおり計画を提出し、及び実施の状況を報告します。

### 1 特定電気事業者の概要

事業者の名称及び代表者の氏名	ENEOS株式会社 大田 勝幸	
主たる事業所の所在地	東京都千代田区大手町一丁目1番2号	
発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
供給区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧（電力） <input checked="" type="checkbox"/> 低圧（電灯）	
事業の概要 （発電事業実施の場合は、発電事業の概要も記載）	（小売） 特別高圧、高圧および低圧について、沖縄と離島を除く全国で事業を実施しています。 （発電） 弊社製油所の自家発電設備を活用しているほか、共同発電事業会社である川崎天然ガス発電（株）への出資及び電力調達を実施しております。	
担当部署 連絡先	事業所名	ENEOS株式会社
	部署名	リソース&パワーカンパニー電気事業部電気業務グループ
	電話番号	03-6257-7246
	E-mail	0118510@eneos.net

### 2 対象年度

提出年度 （当年度）	2020年度
---------------	--------

### 3 低炭素電気の普及の促進のための基本方針

・当社グループでは高効率の発電設備の建設および運転の効率化、再生可能エネルギーの開発・調達などを推進し、地球温暖化対策のための施策を今後も継続的に取り組みます。
--

#### 4 推進体制

・当社グループは、グループ環境方針に則り策定した中期環境経営計画を着実に実行するために、ENEOSグループEMS(環境マネジメント)体制を構築し、グループ一体となった環境マネジメントを推進しています。

#### 5 低炭素電気普及促進計画書兼報告書の公表方法

公表の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
公表方法	

#### 6 電源構成の公表状況

公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
公表方法	ホームページ上 <a href="https://www.eneos.co.jp/denki/introduction/graph.html">https://www.eneos.co.jp/denki/introduction/graph.html</a>

#### 7 電気需要者への低炭素電気の普及の促進に係る措置

・需要家へのCO2排出係数および電源構成の開示や、要望があった場合には随時CO2排出係数の説明を実施するなど地球温暖化対策推進のための情報提供を行っています。  
・特別高圧、高圧需要家及び一般家庭向けにもインターネットを通じた、「電力の見える化」サービスを提供し、省エネ意識喚起や消費電力平準化等に努めています。

	対応の可否	<input checked="" type="radio"/> 対応可 <input type="radio"/> 一部対応可 <input type="radio"/> 対応不可
RE100に対応した電気の供給	備考	・特別高圧、高圧需要家を対象にCO2排出係数ゼロの環境配慮型電気販売を積極的に展開しております。 ※販売メニューは、再生可能エネルギー由来の電気を販売する「再エネ電力メニュー」および「J-クレジット」や非化石証書などによりCO2排出係数をゼロにする「CO2フリー電力メニュー」の二種類となります。

8 電気の供給に伴い排出される1kWh当たりの温室効果ガスの量及び抑制計画

排出係数種別	前々年度	前年度	当年度	長期目標	
	年度	2019年度	2020年度	2030年度	
	実績値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]	実績値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]	計画値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]	計画値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]	
基礎排出係数		0.462	極力低減	極力低減	
把握率 (%)		100	—	—	
調整後排出係数		0.472	極力低減	極力低減	
メニュー別排出係数	A		0.000	0.000	—
	B		0.000	0.000	—
	C		0.472	極力低減	—
					—
					—
					—
					—
					—
					—
前々年度の排出係数に対する前年度の排出係数の増減理由	・CO2排出係数ゼロ [t-CO <sub>2</sub> /kWh]の電源からの調達量が増加したため。				
排出係数の抑制措置のための取組	・高効率LNG火力発電所、および再生可能エネルギー由来の電力等を継続して調達します。				

9 電気の供給に伴い排出される二酸化炭素の量

排出区域	前々年度	前年度	当年度
	年度	2019年度	2020年度
	実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]	実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]	計画値 [t-CO <sub>2</sub> ]
全国総量		2630512	—
市内		178241	—

(A4)

10 電気の調達実績

調達実績	前々年度		前年度	
	年度		2019年度	
	調達電力量 [kWh/年]	構成比 [%]	調達電力量 [kWh/年]	構成比 [%]
調達電力量 (総量)		—	5915408	—
再生可能エネルギー (FIT電気除く)			221480	3.74
太陽光				
風力				
水力				
その他 ( )				
再生可能エネルギー (FIT電気)			23528	0.40
太陽光				
風力				
水力				
その他 ( )				
未利用エネルギー				

11 調整後二酸化炭素排出量の算定に用いた国内認証排出削減量等

項目	前々年度		前年度	
	年度		2019年度	
	実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]		実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]	
削減相当量				546

12 再生可能エネルギー・未利用エネルギーを利用した電気及び国内認証排出削減量等の調達の促進に係る取組の実施状況及び計画

・再生可能エネルギー発電所（FIT含む）からの電力調達、卒FIT太陽光買取や自家消費支援事業（屋根借り太陽光）および非化石証書等の調達を継続的に取り組みます。

13 その他の低炭素電気の普及の促進に係る措置

・当社の小売電気事業や発電事業における電力需給バランス調整への有効活用を目的として、エネルギーを集約・制御することでマネジメントする（エネルギーの有効利用に資する）、バーチャルパワープラント（VPP）事業に参画しています。